

研究の概要

1 研究主題

自他のよさを認め合い、よりよく生きようとする児童の育成

～自ら考え、表現する道德教育を通して～

2 研究主題設定の理由

本校では、長年にわたる道德教育の研究を継承し、令和5年度から「自他のよさを認め合い、よりよく生きようとする児童の育成 ～自ら考え、表現する道德教育を通して～」を研究主題として、自分づくり部、仲間づくり部、学びづくり部の3つの部を構成して取り組んできた。

自分づくり部では、自分のよさに気づき、積極的に表現する児童を目指して、自己肯定感や自己表現力を高める日常活動の充実に取り組んだ。「心タイム」では、同学年、異学年の児童間でのよさ見つけの活動やグループエンカウンターを行った。また、自己肯定感を高める活動として、自慢大会やスターシールの活用を行った。その結果、自己肯定感の向上や自信をもって積極的に表現しようとする態度が育ってきた。今年度も継続して取り組み、さらに児童の意欲を高める活動を取り入れていきたいと考える。

仲間づくり部では、友達と互いに理解し助け合う児童を目指して、体験活動の充実に取り組んだ。「体験ふり返しカード」を活用し、目標をもって体験活動に取り組ませ、自分や友達の良さ、これからの生活に活かしたいことをふり返らせた。また、異学年交流や人権・平和教育の推進に取り組んだ。これらの取り組みが、いろいろな人との関わりの中で、互いを思いやる心や命を大切にする心を育むことにつながった。今後は、体験活動による児童の成長や良さが承認される場を設け、さらに体験活動を充実させていきたいと考える。

学びづくり部では、自分の考えをもち、友達と話し合いながら、よりよい生き方について考える児童を目指して、道德科の授業研究に取り組んだ。授業では、主に自らの生活や考えを見つめたふり返しをさせるための手立ての工夫に取り組んだ。児童の事前アンケートを授業で活用したり、登場人物と自分を重ね合わせて考えさせたりしたことで、自分たちの生活と結び付けたふり返しができるようになっていくが、まだ十分とは言えない。今後も、指導過程の様々な段階で、教材と自分を結び付けて考えさせる手立てを取り入れて、授業改善を行っていきたい。また、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指して導入された一人一端末の活用も行っていきたい。

以上のように、今年度は昨年度の成果を継承しつつ、それぞれの部で課題を解決しながら学校教育全体を通して計画的・発展的な道德教育を行うことで、研究主題に迫りたいと考える。

3 道徳教育の重点目標

- 目標を立てて最後までやりぬくことができる。【希望と勇気、努力と強い意志】
- 感謝と思いやりの心で接することができる。【親切、思いやり】
- 自他の生命を尊重することができる。【生命の尊さ】

4 研究の目標

自他のよさを認め合い、よりよく生きようとする児童を育てるために、他者とのかかわりの中で自分自身を見つめたり、ふり返ったりすることで、自ら考え、表現する道徳教育の実践について研究する。

5 研究で目指す児童の姿

自分づくり部

- 自分のよさに気づき、よりよい生き方について考え、積極的に表現する子供。

仲間づくり部

- 友達と互いに理解し合い、共に助け合う子供。

学びづくり部

- 郷土を愛し、郷土の伝統と文化を大切にする子供

6 研究の内容と方法

(1) 自分づくり部

- 自己肯定感や自己表現力を高める日常活動の充実
 - ・心タイムの計画、実施
(ぽかぽかカード・心の木カード・構成的エンカウンター)
 - ・自慢大会の計画・スターシールの活用
 - ・Q U、心アンケート、道徳アンケートなどによる実態把握
- 自己を見つめ考える力を育てる道徳の時間の充実
 - ・道徳の時間の指導過程の確立及び授業の工夫
(自らの生活や考えを見つめたふり返りをさせるための手立ての工夫)
 - ・I C T活用の模索
 - ・道徳教育全体計画、学年年間計画（教科等との関連指導）
 - ・道徳教育別葉の活用

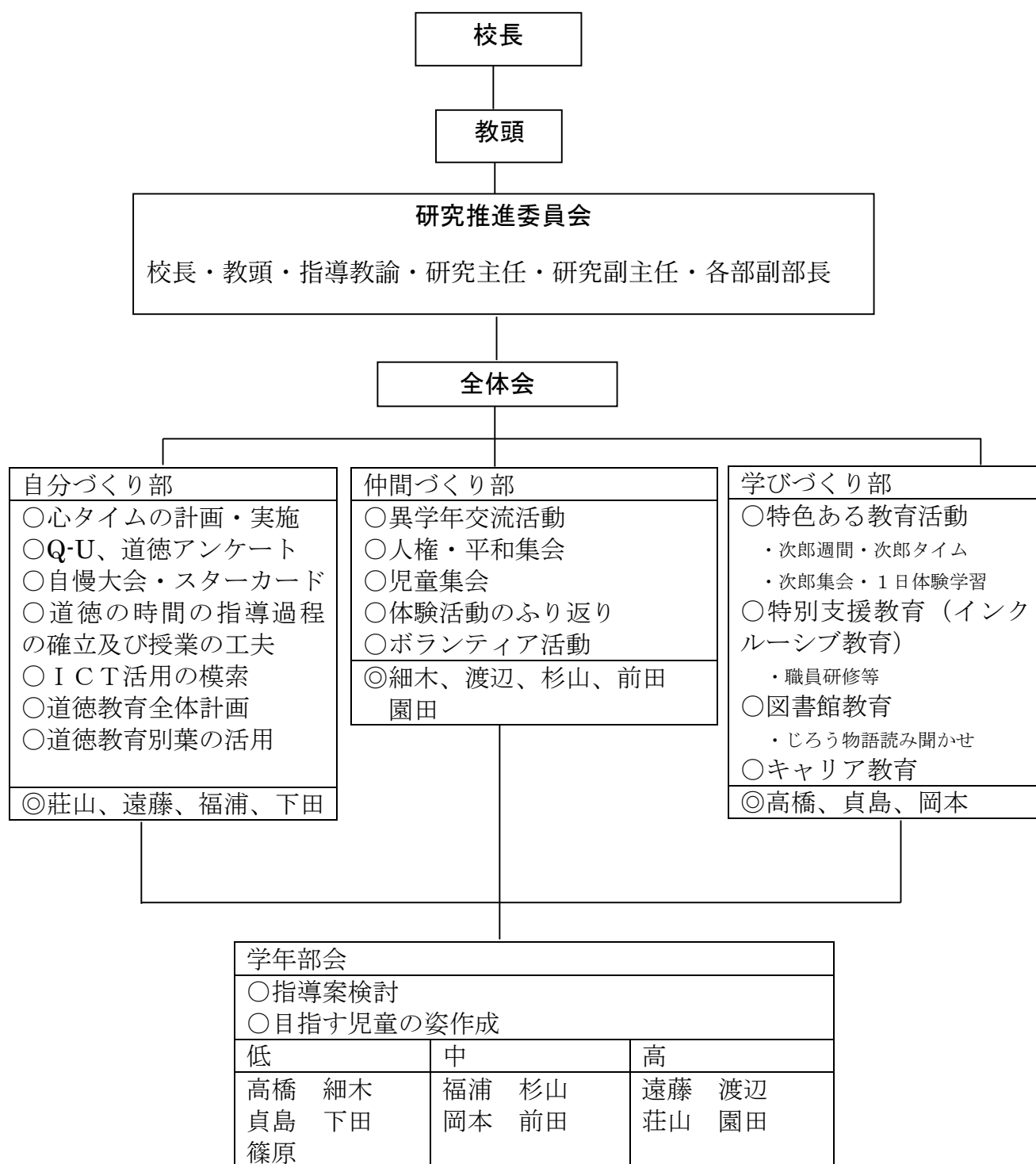
(2) 仲間づくり部

- 道徳性を育む豊かな体験活動の充実
 - ・たてわりによる異学年交流活動（たてわり班対抗遊び）
 - ・人権・平和集会
 - ・児童集会
 - ・行事等のふり返りの場の設定
 - ・ボランティア活動

(3) 学びづくり部

- 郷土の伝統と文化を大切にする心を育む活動の充実
 - ・特色ある教育活動
(次郎週間・次郎タイム・次郎集会・1日体験学習)
 - ・特別支援教育（インクルーシブ教育）
 - ・図書館教育（次郎物語の読み聞かせ）
 - ・キャリア教育（キャリアパスポート・マナー検定）

7 研究の組織



8 研究の計画

令和5年度 校内研究会日程表		
月 日 (曜)	会 議 名	内 容 (概要)
4 月 4 日 (木)	第1回研究推進委員会	校内研究の概要と内容及び組織作りについて
4 月 8 日 (月)	第1回校内研究会	全体会：校内研究の方法と内容及び組織についての提案 部会：研究の内容と方法についての話し合い 学年部会：めざす児童像について検討
5 月 22 日 (水)	第2回校内研究会	全体会：各部からの取り組み提案 指導案の形式提案 学年部会：研究授業日程の検討
7 月 12 日 (金)	第3回校内研究会	第1回授業研究会（全体研） 3年1組 指導助言：東部教育事務所指導主事 古賀美奈子先生
9 月 日 ()	第4回校内研究会	第2回授業研究会（グループ研） 年 組
10 月 日 (水)	第6回校内研究会	第3回授業研究会（全体研） 年 組 指導助言：東部教育事務所指導主事 古賀美奈子先生
10 月 日 ()	第7回校内研究会	第4回授業研究会（グループ研） 年 組
11 月 日 ()	第8回校内研究会	第5回授業研究会（グループ研） 年 組
11 月 日 (水)	第9回校内研究会	第6回授業研究会（全体研） 年 組 指導助言：東部教育事務所指導主事 古賀美奈子先生
12 月 5 日 (木)	第2回研究推進委員会	研究のまとめについて
12 月 11 日 (水)	第10回校内研究会	全体会：研究紀要について 部会：研究のまとめ
1 月 15 日 (水)	第11回校内研究会	部会：研究の成果と課題について
1 月 21 日 (火)	第3回研究推進委員会	研究の成果と課題について
1 月 29 日 (水)	第12回校内研究会	全体会：今年度のふり返り